

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【公開番号】特開2012-141399(P2012-141399A)

【公開日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-029

【出願番号】特願2010-293016(P2010-293016)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

G 03 G 21/14 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 5 1 0

G 03 G 21/00 3 7 2

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月6日(2014.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トナー像を熱によって記録材に定着する定着部を備えた画像形成装置であつて、

搬送されている記録材の先端が接触する接触部を備え、記録材の先端に押されることで待機位置から所定の第1の回転方向に回動するレバーと、

前記待機位置に位置するように前記レバーを付勢する付勢手段であつて、記録材の後端が前記レバーを通過した後に前記待機位置へ向けて前記第1回転方向と反対の第2回転方向に回転させる付勢力を前記レバーに与える付勢手段と、

前記レバーの位置に応じた信号を出力する検知センサと、を有し、

搬送されている記録材に押されることで前記レバーが回転したときに、前記第1の回転方向への前記レバーの回転を規制するように、前記レバーを回転させた記録材と当接する当接部を前記レバーが備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記接触部とは前記レバーの回動軸を介して反対側に、前記当接部が形成されていることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記第1の回転方向への前記レバーの回転に伴って記録材が搬送される搬送路内へ前記レバーの当接部が突出することを特徴とする請求項1または2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記定着部はニップ部でシートを挟持して搬送し、前記レバーは前記ニップ部よりも上流においてシートと接するように配置され、

前記検知センサからの信号に基づいて残留シートがあるかどうかを判断する制御部を備えることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記定着部のニップ部は、一対の回転ベルトによって形成されていることを特徴とする請求項4に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本願発明は、トナー像を熱によって記録材に定着する定着部を備えた画像形成装置であって、搬送されている記録材の先端が接触する接触部を備え、記録材の先端に押されることで待機位置から所定の第1の回転方向に回動するレバーと、前記待機位置に位置するように前記レバーを付勢する付勢手段であって、記録材の後端が前記レバーを通過した後に前記待機位置へ向けて前記第1回転方向と反対の第2回転方向に回転させる付勢力を前記レバーに与える付勢手段と、前記レバーの位置に応じた信号を出力する検知センサと、を有し、搬送されている記録材に押されることで前記レバーが回転したときに、前記第1の回転方向への前記レバーの回転を規制するように、前記レバーを回転させた記録材と当接する当接部を前記レバーが備えることを特徴とする。